

令和8年8月7日14時00分
近畿地方整備局

『水辺を活かした環境学習』を支援 ～^{がっこう}兵庫県尼崎市の「水辺の楽校」構想を新規登録！～

本日、近畿地方整備局管内において、新たに申請のあった淀川水系猪名川^{よどがわ いながわ}（兵庫県尼崎市）の「水辺の楽校」が登録されました。

猪名川において、子どもたちが豊かな自然や生物多様性の大切さを学び、地域のさらなる魅力向上を図る取組を充実させる尼崎市の「水辺の楽校」を支援していきます。

なお、尼崎市への登録証の伝達式の開催については、日程等が定まった時点でお知らせします。

○尼崎市猪名川水辺の楽校（兵庫県尼崎市）……………別紙1

《「水辺の楽校プロジェクト」》（参考1）

人間と環境の関わりについての理解を深め、豊かな人間性を育んでいくために、市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進するため、国土交通省、文部科学省、環境省の3省が連携して、『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』に取り組んでいます。

この取組に対し国土交通省では、子どもが安全に水辺に近づけ、環境学習や地域交流などの活動を推進するために必要な、親水護岸などのハード整備を「水辺の楽校プロジェクト」として実施し支援するものです。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、
兵庫県政記者クラブ、尼崎市記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省近畿地方整備局 河川部 河川環境課

課長 ^{みやざき}宮崎 ^{もと き}元紀、課長補佐

^{きしもと}岸本 ^{まさゆき}昌之 06-6942-0608

「尼崎市猪名川水辺の楽校」(兵庫県尼崎市)

【別紙1】

対象河川：一級河川 淀川水系猪名川、藻川【国管理河川】

市町村名：兵庫県尼崎市

申請者：尼崎市

取組団体：尼崎市猪名川水辺の楽校推進協議会



1. 概要

尼崎市北東部の、猪名川と藻川に囲まれた地域とその周辺部のエリアでは、平成13年度に「自然と文化の森構想」を策定し、豊かな自然環境や水辺空間、田園風景等を地域の魅力資源として、守り、活かし

ながら、楽しみ、学ぶことのできる取組を、市民・事業者・行政が協働して進めてきました。この地域にある尼崎市農業公園は、開園から40年が経過し、農業振興の拠点としての活用に加え、市北部の賑わいの創出に向け、令和6年1月に「尼崎市農業公園魅力向上計画」を策定し、再整備を実施しています。

兵庫県では、公立小学校3年生を対象に「環境体験事業」を実施しており、尼崎市では多くの学校で猪名川や藻川を活用した体験学習を行っています。また、地元NPO団体である「自然と文化の森協会」が猪名川や藻川周辺において、水遊び、昆虫・野草採取、野鳥観察等、様々な活動を行っています。

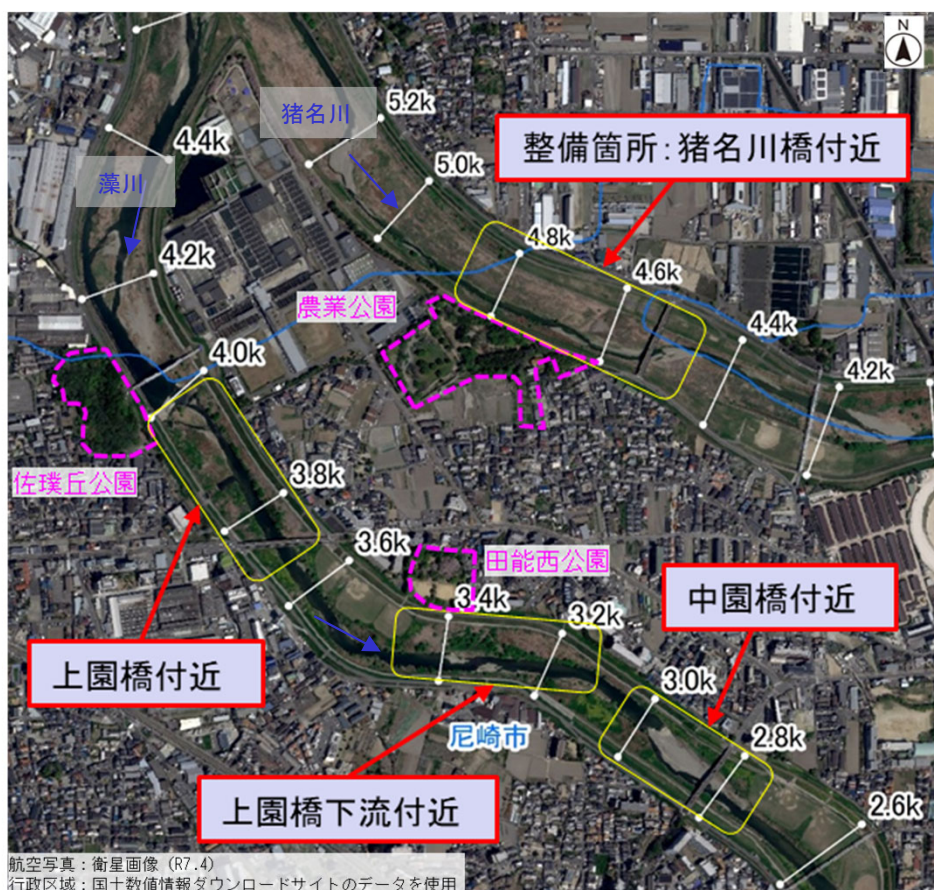
この度、地元NPO団体や教育関係者、行政等で構成する「尼崎市猪名川水辺の楽校推進協議会」を設置して、河川愛護の意識や地域への愛着心を育む場を創出することで、子どもたちが豊かな自然や生物多様性の大切さを学び、尼崎のさらなる魅力向上を図る取組を充実させます。

国土交通省では、子どもたちが安全に利用でき、地域に親しまれる水辺空間となるよう、必要な河川管理施設の整備などの支援を行ってまいります。

2. ハード施策の内容

親水護岸、階段護岸、案内看板等

※整備イメージ



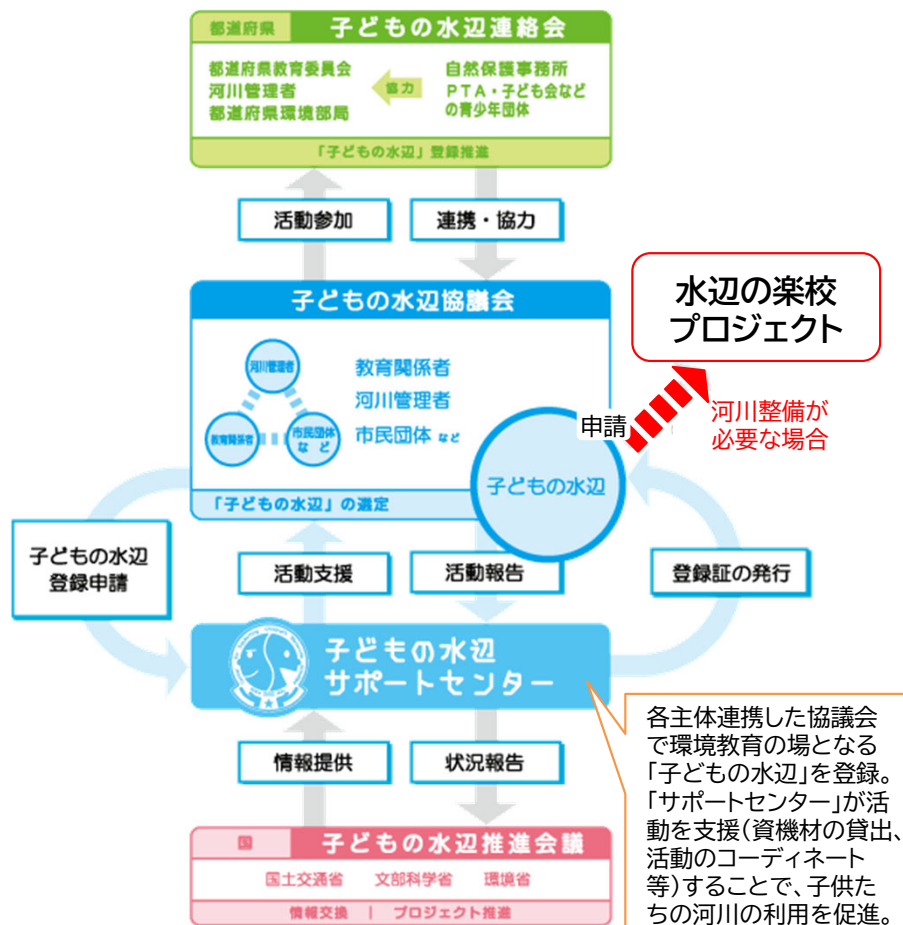
※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

水辺の楽校プロジェクトの概要

【参考1】

- 人間と環境の関わりについての理解を深め、豊かな人間性を育んでいくために、市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺(「子どもの水辺」)における環境学習や自然体験活動を推進するため、国土交通省、文部科学省、環境省の3省が連携して、『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』に取り組んでいます。
- 『水辺の楽校プロジェクト』は、子どもが安全に水辺に近づけ、環境学習や地域交流などの活動を推進するために必要な施設整備などの支援を行うものです。

「子どもの水辺」再発見プロジェクト



水辺の楽校プロジェクト(国土交通省)

子どもが安全に水辺に近づけ、環境学習や地域交流などの活動を推進するために必要な施設整備などの支援を行うもの。



「水辺の楽校」のイメージ図



※掲載画像の一部は生成AIによって修正・加工されたものです。